

お伊勢まいり
平岩 弓枝著、文藝春秋

大嵐で甚大な被害を受けた旅宿「かわせみ」の女主人の息子が、お伊勢まいりに出かけた。のどかな街道風景を眺めながら慣れない旅を続けるが、次々と怪事件が起こり…。

ロング・ロング・ホリディ
小路 幸也著、PHP 研究所

でも、僕は探していたんだ。見えな未来を。この場所です。80 年代初頭の札幌を舞台に、喫茶店でアルバイトをする大学生と店に集う若者たちの成長と苦悩を描いた長編小説。

スリップウェア
誠文堂新光社編、誠文堂新光社

18 世紀から 19 世紀に、英国で作られた実用的なうつつ「スリップウェア」に美を見出したのは、日本の民藝運動の創始者だった。スリップウェアの意匠と制作技法を、写真を交えて紹介。

NEW BOOKS COMING UP

弘前図書館近着図書紹介

昭和のレトロパッケージ
初見 健一著、グラフィック社

キュートでオシャレ、クールなデザインがいっぱい！ペコちゃん、チェリオ、クーピーペンシル…。キャラクターからイラスト、ロゴなど、個性的な昭和の商品パッケージを紹介。

まんげつの夜、どかんねこのあしがいつぼん
朽木 祥作著、片岡 まみこ絵、小学館

ひとりぼっちのノネコは食べてばかり。さみしいと、心のかわりにおなかを満たしてしまおう。とうとうノネコは友だちを探しに出かけた。ところがその夜は、特別な「まんげつの夜」で…。

弘前図書館 DATA

月曜日も開館しています

▽開館時間 平日…午前 9 時半～午後 7 時／土・日曜日、祝日…午前 9 時半～午後 5 時
▽ところ 下白銀町（追手門広場内）
▽休館日 毎月第 3 木曜日（祝日の場合は翌日に振替）、年末年始、蔵書点検期間
※3月の休館日は17日です。
☎ 32・3794

さらつと一句・川柳

今月のお題「合」

選・広聴広報課

一目惚れ花丸そつと見合い席
息合つて寄せ鍋つつき箸交差
活け造り目と目が合った手が疎む
合う度に老けた老けたと要らぬ世話
独り者一合の米もて余す
一合が三合になる今宵酒
さり気なく合の手母の聞き上手
まなざしの合が恋のはじめなり
通学路色とりどりに雨合羽
里帰り洗濯・食事にただ合掌
節分の鬼役似合う爺の顔
耳とおく娘と会話噛み合わせ
宝くじ神棚仏壇手を合わせ
丸くなり声かけ合つて八十路坂
合鍵を心につけるウエディング
雨空の合間に見える虹の嬉しさ
足に合うくたびれた靴離れない
ゆずり合い着ぶくれダルマバスの中
春彼岸合わせ鏡に亡母がいる
気が合うがたまの喧嘩は老の愛情
絶妙の合の手入れて大爆笑
雪むろのころ合い数え舌踊る

佐藤 敬一郎
三窓 昭二
豊田 昭二
豊田 昭二
細川 安津子
関 柳人
琵琶子
にいおか 洋子
鈴木 英二郎
比嘉 のぼる
吉川 ひとし
兼子 智恵子
對馬 義秀
齋藤 半清
南風
たんぼの子
増尾 多恵子
一戸 勇
リーノ
工藤 澄雄
ケイちゃん
小山内 武志

※川柳は、すべて応募者の表記にしたがっているため、一部当て字などで表記する場合があります。

食改さん
おすすめ
レシピ
File.51

楽しいおやつレシピ いちご大福

弘前市食生活改善推進委員会

材料（8 個分）
A 白玉粉 …… 140g
砂糖 …… 大さじ 2
塩 …… 少々
水 …… 200ml
こしあん …… 120g
片栗粉 …… 大さじ 4
いちご …… 8 個

①耐熱ガラスボウルまたは大きなどんぶりなどに A の材料を入れ、よく混ぜる。分量の水を 2～3 回に分けて加え、泡立て器でつぶがなくなるまでよく混ぜる。
②いちごは洗ってヘタをとり、水分をふき取る。こしあんは 8 等分に分け、いちごの頭の部分が少し見えるようにあんで包んでおく。
③①の容器にラップを軽くかけて電子レンジ（600W）で 2 分加熱する。取り出し、木べらでよく混ぜ、さらに 2 分加熱し、取り出して、透明感が出るようにしっかりと混ぜる（不足場合はさらに 30 秒くらい加熱）。
④皿またはバットに片栗粉を広げておき、③の餅を全部流し入れる。少し冷ましてから 8 等分に手で切るように分ける。冷めてから丸く広げ、手のひらにのせ②のあんを中心におき、餅で包むようにまとめて出来上がり。

ポイント！

●電子レンジで加熱した後に餅の生地をよくこねましょ。餅の生地が熱いので注意し、冷ましてから包むと簡単です。●写真は男性料理教室の参加者が作ったいちご大福です。いちごのおいしい季節に、一度作ってみませんか。

■1 人分の栄養量：エネルギー／109kcal、タンパク質／2.7g、カルシウム／7mg、食塩相当量／0.1g

編集後記

▶ 10 年前はちょうど大学を卒業して、社会人のスタートを切るかどうかという期待と不安のなかにいたころ。毎日を意識的に、時間を大切に過ごすことの重要性を特に感じた時期でもありました。毎日の生活に追われて忘れてしまいがちなことですが、当時の思いも含めて、大切に毎日を過ごしていきたいです。（大）

▶ 弘前に住んでから 7 年。合併当時は青森市に住んでいて、そのころは弘前には年に数回遊びに行く程度で、ここで働くことになるとは思っていませんでした。しかし、いざ住んでみると地元とは異なる町並みや弘前ならではの祭りに触れ、今では弘前を思いっきり満喫し、第 2 のふるさとになっています。（柿）

NEWS

弘前デザインウィーク
「Snow Art Gallery ～スノーアートギャラリー」を開催しました

2 月 13 日、吉野町緑地公園で、りんご箱を利用した新しいアートの楽しみ方をデザインする市民参加型イベント「Snow Art Gallery ～スノーアートギャラリー～」を開催しました。
会場では、地元保育園児がりんご箱に描いた作品の展示のほか、アーティストがその場でアートを描き出すライブペイントや、来場者がスマートフォンやカメラで会場内を撮影し応募するフォトコンテストなどが行われました。
フォトコンテストの結果は、HIROSAKI DESIGN

WEEK 公式サイト（<http://www.city.hirosaki.aomori.jp/hdw/>）で 3 月上旬ごろ発表し、優秀作品は広報ひろさき 4 月 1 日号に掲載する予定です。
■問い合わせ先 広聴広報課（☎ 35・1194）

30

HIROSAKI 2016.3.1

31